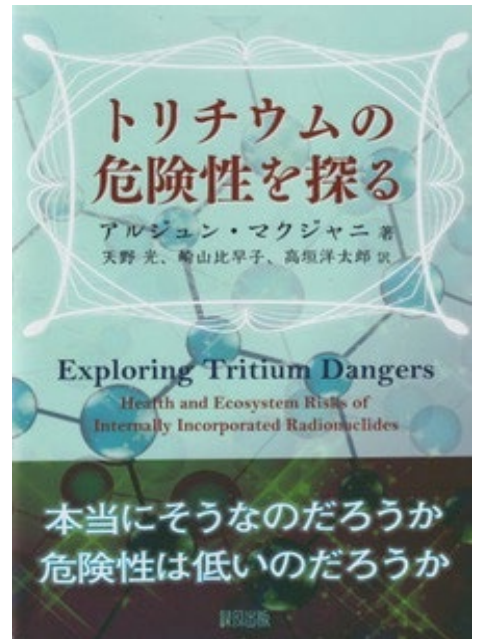


アルジュン・マクジャニ著『トリチウムの危険性を探る』 翻訳者から聞く オンライン連続講座へのお誘い

東電福島第一原発事故で溶け落ちた核燃料デブリの冷却汚染水には種々の放射性核種に加え大量のトリチウムが含まれています。トリチウムは水素の同位体で、多核種除去装置 (ALPS) で処理してもこれを除去することができませんが、希釈して基準値以下なら問題なしとして海洋投棄されています。本当に危険性はないのでしょうか？

本書ではトリチウムの生成からその挙動、生物に対する影響までを記述しています。書名に表されているようにその危険性は探求段階であり、データが不足しています。何がわかっていて、どのような研究が求められているのか、翻訳者と一緒に考えてみませんか。事前の質問もお受けします。



主催 : 高木学校

日時 : 第1回 2024年12月15日(日) 13:00~15:00

第2回 2025年1月19日(日) 13:00~15:00

参加費 : 無料

◆トリチウムの危険性を探る (1) 原子力施設からの放出、環境挙動、規制値など: 天野 光

米国の科学者マクジャニさんが執筆された『トリチウムの危険性を探る』をベースにして、トリチウムについての話をします。トリチウムについての基本的な話から、生成、環境中での濃度や挙動、存在形態、有機結合型 (OBT)、トリチウムは濃縮するかといった話、原子力施設等からの放出、福島原発事故由来の処理汚染水からの放出、放出の規制値といった話題について話をしようと思います。

◆トリチウムの危険性を探る (2) 被ばく影響の評価と胎児への催奇形性影響: 崎山 比早子

放射線にはエックス線、ガンマ線、ベータ線等でエネルギーの異なるいろいろな種類があります。「トリチウムを出すベータ線はエネルギーが低いから安全」なのでしょうか？体内に入ってどうなるのでしょうか？妊婦がトリチウム汚染された場合、胎児への影響は？胎児の被ばく影響は、ほとんどが広島・長崎の被爆者から得られたもので、トリチウムについてのデータはありません。放射線が生物におよぼす影響に基づいて考えます。

◆トリチウムの危険性を探る (3) ミトコンドリアと健康、免疫系への影響： 高垣 洋太郎

ヒトの生物理解は、21世紀に入って、ヒトゲノムの解読、ミトコンドリアの動態、腸内細菌と免疫の3局面での新展開が、医療でパラダイムシフトを起こしている。

ミトコンドリアは、独自の遺伝情報を保有し、細胞内共生生物とも考えられているが、ここでは健康への関与と疾患発症への寄与とを概観してみたい。

〈プログラム〉

第1回 2024年12月15日(日)

13:00～13:05	(はじめに) 今なぜトリチウムなのか?	崎山比早子
13:05～14:05	(1) 原子力施設からの放出、環境挙動、規制値など	天野光
14:05～15:00	(2) 被ばく影響の評価と胎児への催奇形性影響	崎山比早子

第2回 2025年 1月19日(日)

13:00～14:00	(3) ミトコンドリアと健康、免疫系への影響	高垣洋太郎
14:00～15:00	総合討論	

【書籍ご案内】

『トリチウムの危険性を探る』
アルジュン・マクジャニ著 天野光、崎山比早子、高垣洋太郎訳
2024年10月発行 緑風出版 定価 2200円+税

-
- ・オンライン会議システム Zoom を使用したオンライン講座です。(定員・90名)
 - ・資料はあらかじめPDFでお送りしますので、事前のダウンロードをお勧めします。
 - ・講座は記録として録画します(後日公開予定)。

お申込みは、下記 URL または QR コードより「参加申し込みフォーム」にてお申込みください。
事前質問は、こちらからお願いします。

第1回、第2回単独でもお申し込みできます。

折り返し、事務局より各回毎の参加用 URL 等をメールでお送りします。

定員になり次第、受付を終了します。

カンパ大歓迎 <送金先> 郵便振替 00151-8-28425

(ゆうちょ銀行 019 店 当座 口座番号 0028425) 加入者名 高木学校

高木学校事務局 〒164-0011 東京都中野区中央 2-48-4 小倉ビル 1F

原子力資料情報室内

E-mail : takasas@ja.main.jp

ホームページ : <http://takasas.main.jp>

